

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成23年6月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年6月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 156社 回答率 94.0%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	33社 21.6% (2.0)	45社 29.4% (15.2)	53社 34.6% (19.9)	16社 10.5% (28.5)	6社 3.9% (34.4)	153社	23社 15.3% (13.7)	25社 16.7% (14.4)	47社 31.3% (19.9)	26社 17.3% (23.3)	29社 19.3% (28.8)	150社
売上高	36社 23.4% (2.6)	45社 29.2% (15.2)	49社 31.8% (18.5)	18社 11.7% (30.5)	6社 3.9% (33.1)	154社	29社 19.2% (16.4)	30社 19.9% (14.4)	42社 27.8% (21.9)	25社 16.6% (20.5)	25社 16.6% (26.7)	151社
在庫数量	7社 4.7% (9.7)	39社 26.0% (23.4)	66社 44.0% (41.4)	29社 19.3% (18.6)	9社 6.0% (6.9)	150社	17社 11.7% (15.8)	32社 22.1% (18.0)	52社 35.9% (34.5)	23社 15.9% (15.8)	21社 14.5% (15.8)	145社
販売単価	1社 0.7% (0.0)	20社 13.5% (11.0)	102社 68.9% (65.5)	25社 16.9% (19.3)	0社 0.0% (4.1)	148社	7社 4.9% (2.1)	39社 27.1% (33.6)	74社 51.4% (45.0)	19社 13.2% (12.1)	5社 3.5% (7.1)	144社
収益状況 (粗利)	13社 8.5% (1.3)	38社 24.8% (8.1)	69社 45.1% (34.9)	27社 17.6% (33.6)	6社 3.9% (22.1)	153社	13社 8.7% (5.7)	30社 20.0% (13.5)	50社 33.3% (31.9)	36社 24.0% (25.5)	21社 14.0% (23.4)	150社
稼働率 (生産・加工設備)	9社 6.2% (0.9)	40社 27.4% (13.7)	69社 47.3% (32.5)	25社 17.1% (30.8)	3社 2.1% (22.2)	146社	8社 5.6% (7.1)	29社 20.3% (13.4)	59社 41.3% (31.3)	33社 23.1% (22.3)	14社 9.8% (25.9)	143社
入出庫の トラック台数	11社 9.0% (0.7)	31社 25.4% (10.6)	51社 41.8% (36.9)	24社 19.7% (31.2)	5社 4.1% (20.6)	122社	7社 5.8% (4.4)	26社 21.7% (21.5)	50社 41.7% (31.1)	21社 17.5% (23.0)	16社 13.3% (20.0)	120社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	2社 1.4% (0.0)	14社 10.1% (4.4)	42社 30.4% (28.5)	40社 29.0% (29.2)	40社 29.0% (38.0)	138社	3社 2.3% (1.5)	41社 30.8% (19.4)	69社 51.9% (42.5)	14社 10.5% (23.9)	6社 4.5% (12.7)	133社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査(6月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 自動車に関係している分野は好調になりつつあるが、建材は5月に引続き荷動きが悪い。現在止まっている物件などが本格的に動き出すのが秋以降ではないかという意見が多い。夏場は踏ん張りどころである。
- ② 自動車関連の紐付価格の決着を受けて、市況は底打ちを確認させられたが、在庫は減ってはいない。新値玉が入荷しており、7月にはほぼ過半数となりそうな中で、客先の反応も、状況に理解を示しても実需に盛り上がりの無い中で安値受注を強いられており、とくに非住宅向けの建材は指値が厳しい。ジェネレーターや盤関連、ソーラー架台などフル生産部門もあるが、全体感は与信面を含め、秋以降の復旧、復興需要にいかにつなげていくかだろう。
- ③ 東日本大震災後の企業復旧状況はまだら模様で、緊急需要を取り込んだ企業は多忙となっているが、それ以外は厳しい状況となっている。本格的な回復軌道への必要条件は復興の2次補正予算の早期執行が重要である。
- ④ メーカー値上げの決着が進展する中、弱含みで推移していた市況も下げ止まり、流通もこれから再転嫁に動き出そうとしていた矢先の5月末、薄板三品在庫が4月末に続き急増し、買手市場を後押しする結果となった。下げられず、上げられず、流通は暫く我慢の日が続く。早急な需要回復が待ち遠しい。
- ⑤ 諸口、店売りユーザーの現状について、在庫も多少増加傾向で回転を優先している。国内高炉材でも店売定尺の安物が出ているため、浦安相場は安値に引きずられ、当面弱含みで展開する。

中板

- ① 6月の販売量は前月比増も、荷動きは低調にて変わらず。高値のコイルが入荷する中、採算確保が難しく、苦戦しているのが現状。建設需要の低迷が販売競争を激化させており、市況は弱基調で推移している。販売減により在庫は増加傾向にあり、当面、価格合わせの販売で在庫調整が必要と考えている。今後、スクラップ価格と輸入材の動向には注視が必要。
- ② 土木、建築関係の仕事が減少。与信が今後の問題となる。
- ③ 販売単価は、中板下落、厚板は横這い。

厚板

- ① 当月の数量、売上高は前月比で捉えた場合は増加したものの、前月自体の数量が相当低水準であったことによるものであり、水準としては引続き低い状況であり、稼働率も5～6割程度である。来月以降も、まだ主力の橋梁関係が少ないため、山積みとしては低いものの、土木関係の新規加工が始まるため徐々に増加してくる見込みである。橋梁は今年度全体では前年度比若干減少する予測であり、これからの入札案件が鋼材に結びつくのは下期になるが、関東地区の物件が比較的多い見込みであり期待が持てる。

—舟爰开彡金岡

- ① 都心では、もともとあった現場が動き出したが、新規の物件は出て来ていない。町場物件が少ない。
- ② 稼働日数増加分だけ微増した状況だ。足下の状況は「低調推移」。5月とあまり変わらない。
- ③ すべての調査項目は前月比横這いであった。営業日数は前月比3日多いので、実質前月比減少である。鉄以外の部材で、まだ入手難な物もあるので、これが耐久消費財の生産活動を制約しているのではないか。いずれにしても営業努力で解決できる範疇ではある。

工工开彡金岡

- ① 市況の下げ止まり感は出て来たが、底打ちとまではなっていない。在庫の多さ、需要の少なさが足かせになっている。ただ、今が底と思われるので、少しずつ良い方向に向かうのではないか。
- ② 7月に入っても低調な引合、荷動きが続いている。メーカーは契約量を減らしているが、6月末在庫も増え、現状の出庫量を見れば在庫は多め。7/8月の需要は期待出来ないなので、ここは踏ん張るしかない。

異形棒鋼

- ① 市中は商いが少ないが、メーカーは赤字確定になるため下値に抵抗。5月、6月、流通は赤字。メーカーは下値を切り上げるようだ。

平金岡

- ① 店売の動きは相変わらず良くない。

金岡管

- ① 6月は営業日数が多いのに売上はさっぱりだった。7月、8月は6月より良いことを期待する。
- ② 荷動き低調の中で値上げに取り組まなければならない、たいへん難しい局面を迎えている。
- ③ 5月連休明け以来、荷動きに変化なし。超低レベル横這い。

構造用金岡

- ① 需要環境は、建設機械、産業機械、トラック等、堅調な動きとなっており、さらに自動車関連需要の回復を受けて、需給はタイト化していくと思われる。各鉄鋼メーカーの店売品値上げに伴い、再販価格への転嫁を図っており、7月以降は上伸すると思われる。
- ② 鉄鋼メーカーの値上げを受けて、7月より店売は値上げムードに入りそう。ただし、自動車、建機、産機のユーザー紐付の動向を注視する必要がある。

その他

<曲げ加工>

- ① 先月よりやや増加。全体的に数量が多かったのと、量的なものがいつもより多少多く見られた。しかしながら、肝心の重量物がいま一つ不足であったため、最後の追い込みが足りなかった。

<その他鋼材加工>

- ① 短納期の受注が多過ぎて、すべてに対応できていない。二、三日あれば良いほうで、その日、その日の要求もあり、苦慮している。

<軽天材>

- ① 震災後、強気姿勢に転じた各メーカーの契約材がアップし始め、着実に仕入れ単価は上昇している。ただし、売値への転嫁は市場の抵抗が強く進んでいない。

<金属表面処理加工>

- ① 6月は、紐付、物件物とも計画通り。スポットは前月同様、緊急材を含め引合、成約とも活発に推移。付加価値の高い加工が今後多く、数量、売上ともに上向いてくると予想。また、7月より震災で止まっていた造船紐付ユーザーの発注が一部再開となる。